

総選挙 8月30日

今月21日にも解散

首相、与党と合意

麻生首相は13日、今月21日にも衆院を解散し、8月18日公示、同30日投開票の日程で総選挙を実施することを決めた。東京都議選の大敗で与党内に解散送論が強いことに配慮し、お盆後の日程で与党に合意した。民主党など野党は13日、内閣不信任決議案を衆院に、首相問責決議案を参院に提出し、国会審議を拒否する構え。解散を待たずに与野党は事実上の選挙戦に入り、政権を賭けた政治決戦がスタートする。

も財源も示されていない。国民不在の党利党略以外の何物でもない。経済危機から国民の生活を守るのが政治の責任だ」と、野党対策の実績を訴えて戦う決意を述べた。

自身が解散に踏み切る理由については「辞職をして投げ出す無責任な態度を取るべきではない。尚を食いつけても頑張りなさいといけぬ。表紙を代えるとか要紙を代えるとか、いろいろな表現が使われているが、逃げずに戦わなければならない」と説明

野党は問責提出

首相は13日夜、首相官邸で「を守るか。これが争点」と記者団に「国民に問うのは、一強調」「民主憲法は政権交代をどの党が皆さんの生活、日本」言っているが、現実的な政策「苦戦を免れない」との指摘には



記者の取材に応じる麻生首相=13日午後7時25分、首相官邸、水野義則撮影

7月14日 日刊県民福井

県の準備、本格化

福井で不在者投票説明会

次期衆院選の投開票日が間違ったのを受け、県選挙管理委員会が会場確保などの準備作業を本格化させることに、約百五十人の医療機関、福祉施設の関係者を福井市のウェルシティに集め、不在者投票の説明会を開いた。

県選管の担当者は、一昨年四月の福井市議選で老人保健施設の管理者が、入所者の意思確認をせずに不在者投票をしたとして、罰金を受けた例を挙げ、「本人の意思を複数人が客観的に確認してほしい」と呼び掛けた。

県内では県選管が指定する百六十九の医療機関、福祉施設などで、病院長ら不在者投票管理者が入院、入所者の投票事務を代行できる。

(谷野正)



医療機関の関係者が詰めかけた不在者投票の説明会=13日、福井市のウェルシティ福井で

■今後の主な政治日程

7月14日	衆院で内閣不信任決議案、参院で首相問責決議案を採決、特別措置法案が衆院通過
21日?	衆院解散
8月6日	広島原爆の日
9日	長崎原爆の日
15日	終戦記念日のGDP1次速報
17日	4~6月速報
18日	総選挙公示
30日	総選挙投票
9月10日	衆院議員の任期満了
15日	総会開幕
24、25日	国米ビッグリーグG20
30日	麻生首相の自民党総裁任期満了

買決議可決時に解散に踏み切ることでも検討した。だが与党内で解散先送り論が強まり、全力を挙げた都議選から時間を置きたい公明党もお盆後の総選挙を強く主張。首相は解散を来週に延ばした。

都議選惨敗を受け、「野牛降ろし」が加速する可能性も

あつた。首相は混乱が深まる前に先手を打ち、解散総選挙の日程を宣言し与党の同意を取り付けることで主導権の確保をねらった。ただ支持率の低迷する麻生首相では戦えないとの声は自民党内に根強く、首相に批判的な勢力の動向が今後の焦点となりそうだ。

一方、民主党など野党各党は13日午後、内閣不信任決議案を衆院に、首相問責決議案を参院に提出し、審議拒否に入った。14日に不信任案が否決されるが、参院では野党が多数を占めるため開議決議は可決される見込み。

北朝鮮制裁の貨物検査特措法案は衆院は通過しても参院で可決、成立する見通しはなくなる。首相が解散すれば廃案となる。首相は「船舶検査法など非常に大きな問題を抱えたままだ。ぜひ（法案を）上げさせていきたい」と解散までに特措法案を成立させた考えを示した。

衆院解散、総選挙へ

政権選択40日間決戦

来月18日公示 30日投票

衆院は21日午後の本会議で解散された。政府はこの後の臨時閣議で、18日公示、30日投票の総選挙日程を決定。自民、民主の二大政党が政権を懸けて激突する40日間の歴史的な政権選択選挙が事実上スタートした。衆院選は小泉純一郎首相の下で自民党圧勝した2005年9月の郵政選挙以来約4年ぶり。

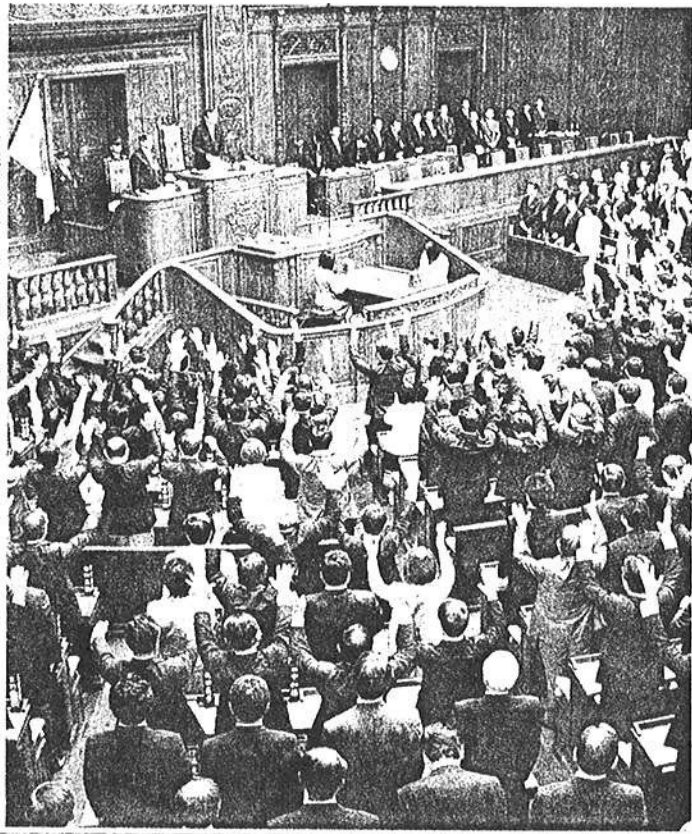
麻生太郎首相は21日夕、民主党の鳩山由紀夫代表を倒し、新しい政権をの記者会見で、これまでは解散後の会見で「必ずつくりあげていく。新時代の政権内の混乱について自民、公明両党の連立政権を迎えたい」と政権交代を「けた違いのばらまきと批判し、政党の責任」が争点になると強調。安心社会実現選挙」と名付けた。これに対し、次期衆院選の本県3小

本県10人立候補準備

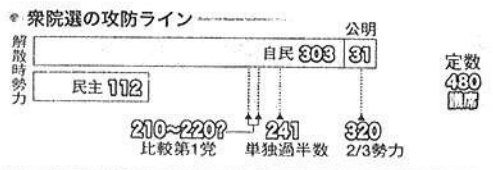
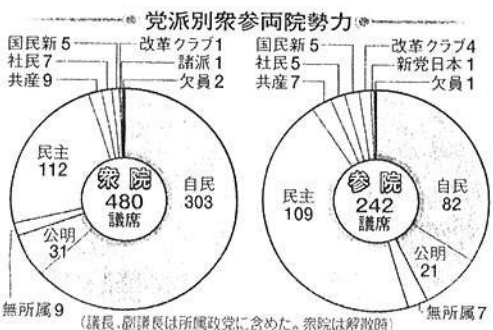
区に4人、2区と3区は1各3人の計10人が立候補の準備をしている。1区は再選を目指す自民党前職の稲田朋美氏(50)と、前回比例復活した民主党の前職笹本竜三氏(52)が激突。共産党新人の金元幸枝氏(51)は比

例代表と重荷を承継の極め、2区は5選を目指す自職松宮勲氏(65)が民主党と、国民新党を離れて、このほか、幸福実現党が民主党公認で出馬する前職糸川正晃氏(34)の事実上の一騎打ち。3区は4区北野光夫氏(42)の3新人の金元幸枝氏(51)は比選を目指す自民党前職高人が出馬を予定する。

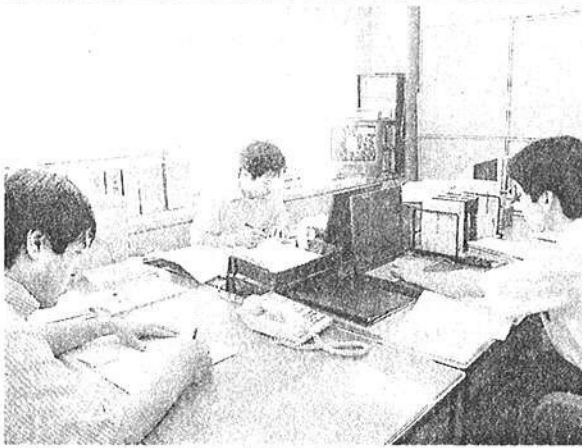
代現に自信を示し、「何か」が攻防の焦点となる。謝した。「党の改革方針としても第1党の議席を、首相は勝敗ラインに閃きを取り、野党を協力する中、しつこく逃げたが、細田の過半数を占めなければならぬ」と述べた。博之幹事長は会見で「公明党と合わせ野党で過半数」との認識を示した。解散に先立ち自民党は代表180計480の議席を占め、午後11時半から約30分、立候補を予定する自民、公明、両院議員懇談会を開き、明と民主、社民、国民新、備、首相は自身の発言のどちらの枠組みが過半数を占めるか、持率低下につながると自民、民主のいずれが2として深く反省している。10月20日議席以上を」と表明。党内の混乱や地確保し比較第1党になる。方選連敗の責任も認め陳



衆院が解散され、万歳する議員。21日午後1時4分、衆院本会議場



解散方針を決めた21日朝の閣議では、早期解散に慎重だった与野関係財務相を含む閣僚が関係書類に署名したが、その後の会見で金子一義国土交通相が「タイミングとして最悪」と指摘するなど複雑な声も漏れた。昨年9月に就任した首相は早期の解散、総選挙を目指したが、選挙情勢が思わしくないことから自民党内では慎重論が強く、米国発の金融、経済危機が深刻化する様相を早したこともあり方針を転換。解散を先送りし、貴族院最優先の方針を掲げてきた。



衆院の解散を受け、対応に追われる県選管職員ら
—県庁で21日

選挙日程決まり
対応に追われる

県選管の職員

県庁内にある県選管事務局では、河野洋平衆院議長が解散詔書を読み上げるニュースがテレビで報じられると、職員らは書類を見ながら今後の選挙日程を確認していた。開票所の設置や投票用紙の発送に加え、22日には県庁内に「選挙よろず相談所」が開設され、職員は「選挙の啓発活動にも力を入れて取り組みたい」と話していた。

正しい選挙ルール

県選管「よろず相談所」開設

衆院選を控え県選管は22日、県庁内に「選挙よろず相談所」を開設した。職員が有権者や候補者陣営の問い合わせに応じ、正しい選挙ルールの啓発と徹底に努める。

前8時半～午後5時半。県選管によると、05年の前回衆院選時には、期日前投票の仕方など計1492件の問い合わせがよろず相談所に寄せられたという。また同日、臨時のホームページ（<http://attp.pref.fukuoka.jp>）も開設され、選挙日程や不在者投票の仕組みを紹介している。県選管は立候補予定者説明会を来月3日午後1時半、県庁で開催する予定。

【大久保陽一】

違反摘発に110人

県警が取締本部設置

県警は22日、本部と県内全12署に選挙違反取締本部を設置した。佐野淳本部長を取締本部長に、署員総勢1100人が違反の摘発に当たる。

県警によると、解散が取りざたされていた昨年秋季から今年7月20日までの選挙違反の警告は79件で、既に行われた衆院選時の違反警告数36件の2倍以上となっている。坂野誠捜査2課次席は「激戦が予想されるだけに、公平な取り締まりで選挙の自由を確保しなくてはならない」と話し、公示前でも厳しく対応するつもり。

【幸長由子】

2009

衆院選



選挙よろず相談所の看板を入り口のドアに張り付ける県選管の職員。県庁で22日

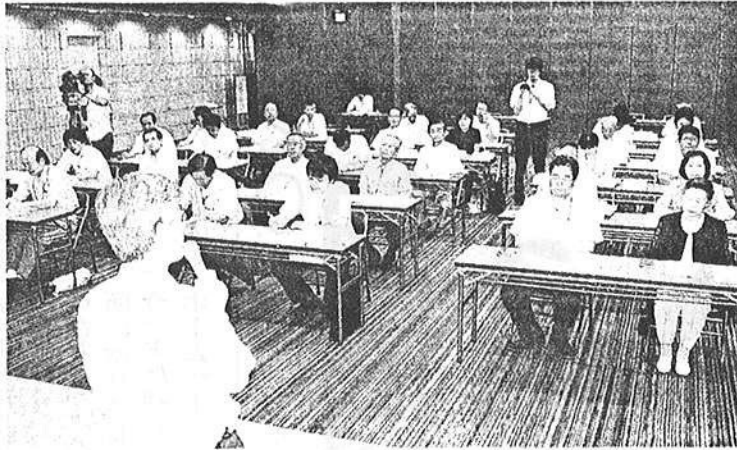
適正な選管業務確認

県庁県、市町が合同会議

8月18日公示の衆院選に向け、県と各市町の選管は24日、県庁で各委員
長、書記長、担当者によ
る合同会議を開き、適正
な管理・執行を行うこと
を確認した。

17市町の選管から約50
人が出席した。柿木孝勇
県選管書記長は「正確性
はもちろんだが開票作業
の迅速化をお願いした
い。夏休み期間中で投票
率の低下も心配される。
投票の呼び掛けや期日前
投票のPRを」とあいさ
つした。

また、2年前の福井市
議選の不在者投票で不正
があったことにも触れ
「選挙に対する信頼が失
われることになる。チェ
ック機能の強化をしてほ
しい」と呼び掛けた。
この後、県選管事務局



衆院選に向け開かれた県、市町選管の合同会議
＝24日、県庁

が選挙事務の日程や開票
・速報態勢などを説明。
投票率アップに向け、テ
レビコマーシャルへの福
井ミラクルエレファンツ
の選手の起用や、県の公
用車などに啓発ステッカー
報告した。
8月3日午後1時半か
ら県庁で立候補予定者説
明会を開き、10日に投票
用紙などを市町に送付す
る。

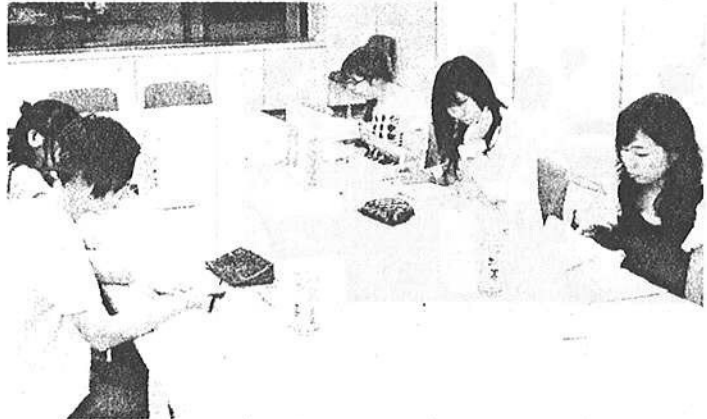
若者に焦点、ネット活用

投票率向上へ

県選管 あの手この手

8月30日の衆院選投票日まで1カ月となった。「政権選択」を問う歴史的な選挙になるとの見方が強い中、県選管は投票率アップへさまざまな取り組みを計画。県内在住者がインターネットのポータル（入り口）サイトにアクセスすると選挙広告が掲示される仕組みを初めて試みるなど、選挙に関心の薄い若者をいかに引き付けるかに知恵を絞っている。

「意思示すこと大事」



投票率アップに向けた取り組みを話し合うCEPTのメンバー＝27日、県庁

たのがインターネット。ネット検索大手のヤフージャパンのポータルサイトに県内在住者がアクセスした場合、8月30日投票をPRする広告が画面に掲示され、クリックすると県選管の臨時ホームページ（HP）に移動する。県選管初のシステムを公示日の18日に開設する予定。「若い人をターゲットにするとネットは無視できない。いろいろな人に衆院選の情報を目に付くようにしたかった」と県選管職員は狙いを語る。

また、ネットカフェやゲームセンターなど若者が集まる県内の施設でも、今回初めてポスターによる啓発を行う。

ネットを介し若い世代と政治を近づけようと試みるのは民間にもある。米検索大手グーグルの日本法人は、ネット上で「未来を選ぼう2009」を開始。立候補予定者が一般からの質問に動画で答える企画で、募集した質問は利用者の賛同が多かった5問に絞り込み、立候補する人が同社の動画投稿サイト「ユーチューブ」を使って回答の動画を掲示する。

候補者が一方的に提示する公約と違い、有権者が本当に聞きたい質問をぶつけられるのが特長。先の男性は「若い世代の投票率を上げるにはネットや携帯電話をもっと利用すべき。選挙情報に気軽に触れられるような仕組みがあれば」とし、同社の取り組みに「面白い

かも」と関心を寄せる。ネットでの試み以外にも県選管は▽県明るい選挙推進青年活動隊「CEPT」の期日前投票所立会人委嘱▽福井ミラクルエレファントの選手のテレビコマース起用などを公示以降に実施する。担当職員は「一票を投じて社会は変わらな」と考えるだけでなく、投票に行つて意思を示すことが大事。若い世代の投票率を上げることが、候補者に若者を意識させることにもなる」と呼び掛けている。

カフェでもポスター啓発

県選管は世代別投票率を公表していないが、2年前の参院選（投票率63・25％）では、県内世代構成比を象徴するある投票区の20～24歳は24・58％、25～29歳34・97％という低率ぶりだ。20～40代の各世代はすべて全体

投票率を下回った。郵政民営化が焦点となった2005年衆院選でも、20～24歳は40％台にとどまったという。

「衆院選では投票しない」といって鯖江市の会社員男性34は「候補者の公約がどうしても身近に感

じられない。国民の意識とかけ離れているように思う」と説明。一度も投票に行つたことがない坂井市の女性（22）も「選挙が自分の生活とかかわりがあるととは思えない。興味がわかない」とそっけない。

そこで県選管が着目し

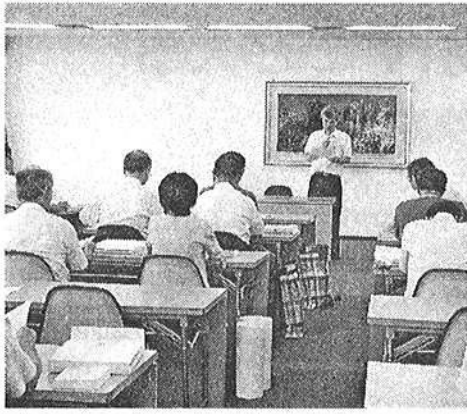


衆院選の立候補予定者説明会

3選挙区11陣営が出席

18日公示の衆院選に向け、県選挙管理委員会は3日、立候補予定者説明会を県庁で開いた。写真。3選挙区で計11陣営が出席し、届け出などの説明を聞いた。

説明会には出馬を表明している自民党、民主党、共産党、幸福実現党の立候補予定者10人のほかに、敦賀市の男性(60)が参加した。出馬については供託金を募っており、検討中とした。

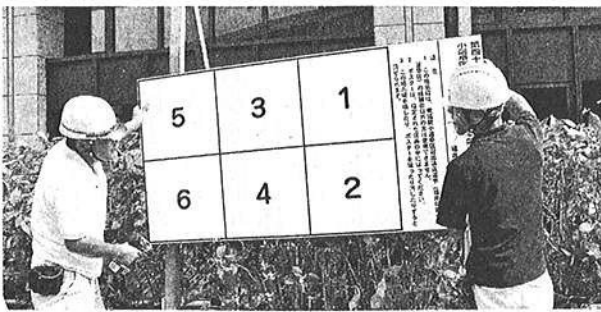


2009 衆院選 福井

ポスター掲示板設置開始

18日公示、30日投開票の衆院選のポスター掲示板設置が4日、福井市内で始まった。

同市では、各候補者のポスター16枚を張り出せる縦2・1メートル、横1・82メートルの樹脂製板を使用。同市役所前ではこの日午前9時から、委託業者の作業員2人がアシサイの花壇に支柱を立て



ポスター掲示板を設置する作業員ら(福井市役所前)

て、ワイヤで固定しながら掲示板を据え付けた。14日までには福井1区の地域609か所、福井3区の地域82か所の計691か所に設置する。

県内では公示までに、2007年参院選時と同じ2954か所に設けられる。

立候補届出書類

事前審査始まる

県選挙管理委員会は4日、衆院選の立候補届出書類の事前審査を始めた。7日まで。

事前審査は、公示日の手続きを速やかにするために行われ、候補者届出書や選挙事務所の設置届などに記入漏れがないかを調べる。県選管によると、初日に事前審査を済ませた陣営はなかった。

投票用紙 慎重に梱包

県選管 10日、各市町へ発送



投票用紙を数え、確認作業をする職員—6日、県庁

衆院選

18日公示の衆院選に向け、小選挙区と比例代表の投票用紙の梱包作業が6日、県庁で行われた。

ほかの関係書類と合わせ10日に県内17市町へ発送される。

小選挙区はピンク色、比例代表が薄い水色に分けられた投票用紙は、通常のもので各68万6千枚、点字用各2900枚、船員不在者用各300枚の計

137万8400枚ある。

県選管の職員13人が作業に当たり、印刷業者から届いた用紙の枚数や印刷ミスがないかなどを慎重に確認。各市町向けに必要な数を箱詰めした。

当初は8月上旬の投票の日程も取りざたされたため、不在者投票用の

封筒や投票所で使う調査などの選挙関係書類の梱包作業は7月上旬からスタートした。書類の総数は87種類約160万枚で、今回初めて行われる小選挙区の在外投票の関係書類約1200枚が前回より増えた。

県選管は「過去の衆院選は突然の解散や投票までの期間が短いことが多かったが、今回は事前に準備ができて作業に余裕がある」と話していた。

今年6月2日現在の県内の選挙人名簿登録者数は計65万6044人で、衆院選の選挙区別では1区22万1514人、2区22万30人、3区21万4500人となっている。

若者よ投票行こう

20代前半は60代前半の3分の1以下。年収ではない。投票率における格差だ。県選管が2年前の参院選で抽出したデータでは、若者4人中3人が投票に行かない。政権選択に関心が集まる総選挙だが、年金制度や税負担のあり方など若者の将来に直接かわる重要課題が山積している。若者が目覚めれば政治は変わる。目覚めよ、福井の若者。
(西山明宏)



総選挙での啓発活動について話し合う広部さん(中央)らCCEPTのメンバー。7月27日、県庁

投票率 20代前半、60代前半の1/3以下

県内のある投票区の年代別投票率 (07年参院選)

年齢	投票率(パーセント)
20~24	24.58
25~29	34.97
30~34	51.72
35~39	50.63
40~44	51.75
45~49	63.23
50~54	68.36
55~59	75.68
60~64	79.89
65~69	76.22
70~74	76.05
75~79	69.70
80~	52.84

学生ら呼びかけも

「関心がないとはいえず低すぎる」。県選管の担当者は頭を抱えた。2年前の参院選(県全体の投票率63・25%)で、県の年代別人口構成に近いある市の投票区を抽出し、年代別投票率を調べた。20、24歳は24・58%、最も高い60、64歳の79・89%とは55%以上、倍差の差が開いていた。この参院選で投票にいかなかった若者に聞いた。

「変わるのか…」

福井市の大学院2年の男性(23)は「当日は用事があった」。政治に関心がないわけではないが、「投票で何かが変わるというイメージもなく、他の予定より優先順位は低い」という。介護職員の女性(25)も「仕事で行けなかった。期日前投票も考えただけ、場所を知らなかった」。2人とも、選挙権を得てから一度も投票したことがない。立候補予定者の陣営も、票

政権選択の足もとで

に結びつかない若者の取り込みには熱心ではない。今回の総選挙に向け、予定者本人が書くブログをネット上の政治特集サイトから見られるようにし、ネット献金を受け付けるなどして若者をターゲットにする陣営もあるにはあるが、大半は後援会や支持母体の青年部など支援者の集まりを開く程度。「ネット型選挙」を始めた陣営の担当者は「未来を担う若者が投票しなければ日本は滅びるのでは、と心配なんです」と危機感を見せた。

7月27日夜、県庁の小さな会議室に、5人の若い女性が集まった。05年に県選管の呼びかけで発足した「県明るい選挙推進青年活動隊」(CEPT)の面々。大学生や20代の社会人が中心となりボランティアで活動している。前回の参院選では、FMラジオにメンバーが出演して投票の必要性を訴えたり、街頭でビラを配ったりしたが、結果を出せなかった。メンバーの1人で坂井市の会社員、竹内優子さん(24)は「選挙は街宣が近所迷惑で投票にはいかない」という同世代の言葉を聞いてショックを受けた。「みんな選挙や政治を他人事と思ってるみたい」。少子高齢化や年金、消費税増税問題、国が抱える約800兆円の借金。今の若者にはしかかってくる問題ばかりなのに無関心なのは「近所の道路がきれいになるのと違って、イメージを持ちにくいからかもしれない」と、リーダで福井大教育地域科学部3年の広部舞さん(26)は話す。選挙は自分に関係あると思うことが投票につながるのでは、とのアイデアから、メンバーは今年5月、福井大の学園祭で「キャンパスライフ向上作戦」をテーマに三つのサークルからミニフェストを発表してもらい、学生投票で1位を決めるイベントを開いた。身近なテーマだったこともあり、キャンパスの隅々にあるブースで、300票近くが投じられた。

ネットを活用

今回の総選挙では、投票呼びかけのポスターをゲームセンターやネットカフェに張る。大手検索サイトのヤフーと提携し、県内在住者がサイトにアクセスすると、総選挙の広告が画面に表示されるようにもする。「投票は社会参加の権利で

あり基本。若者がこのまま投票しなければ民主主義の根幹が危うくなるのではないかと」どの問いに、広部さんは「若者の声が政治に生かされない」と、いい社会にならない。投票を機に政治に関心を持つことが、入り口としては大切なのでは」と話した。

投票用紙を 市町に発送

県選管

県選管は十日、衆院選の投票用紙を各市町の役所へ発送する作業を県庁玄関で行った。

県選管の書記を務める二十人の職員が参り、約百六十万枚の書類を詰め、大小二百十個



投票用紙や書類が入った箱をトラックに積み込む職員ら＝県庁で

の箱を、地域別に分けた三台のトラックに積み込んだ。発送式もあった。職員たちが県庁に一礼し、トラックに



投票を呼びかける啓発塔と横断幕

＝福井市役所

衆院選 呼びかけ

福井市役所前に啓発塔

衆院選の公示(18日)に向け、福井市は14日、市役所前に投票を呼びかける啓発塔を設置した。

啓発塔は3面タイプで高さ約6㍍、1面の幅は約1㍍。遠くから見ても分かるように大きな文字で投票日(30日)を記載している。

このほか庁舎正面にのぼり20本を立て、4階の外側にも同じ内容が書かれた幅10㍍の横断幕を設置した。

市ではこのほか市内の主な歩道橋に横断幕を掲げるなどして啓発活動を進める。

2009
衆院選

に保管される。

(谷悠二)

—09衆院選ぶくろ—

選挙も環境の時代!?。衆院選の公示前後に繰り広げられる街頭啓発キャンペーンで、有権者に配られるグッズの中にエコバッグが登場、その出番を待っている。

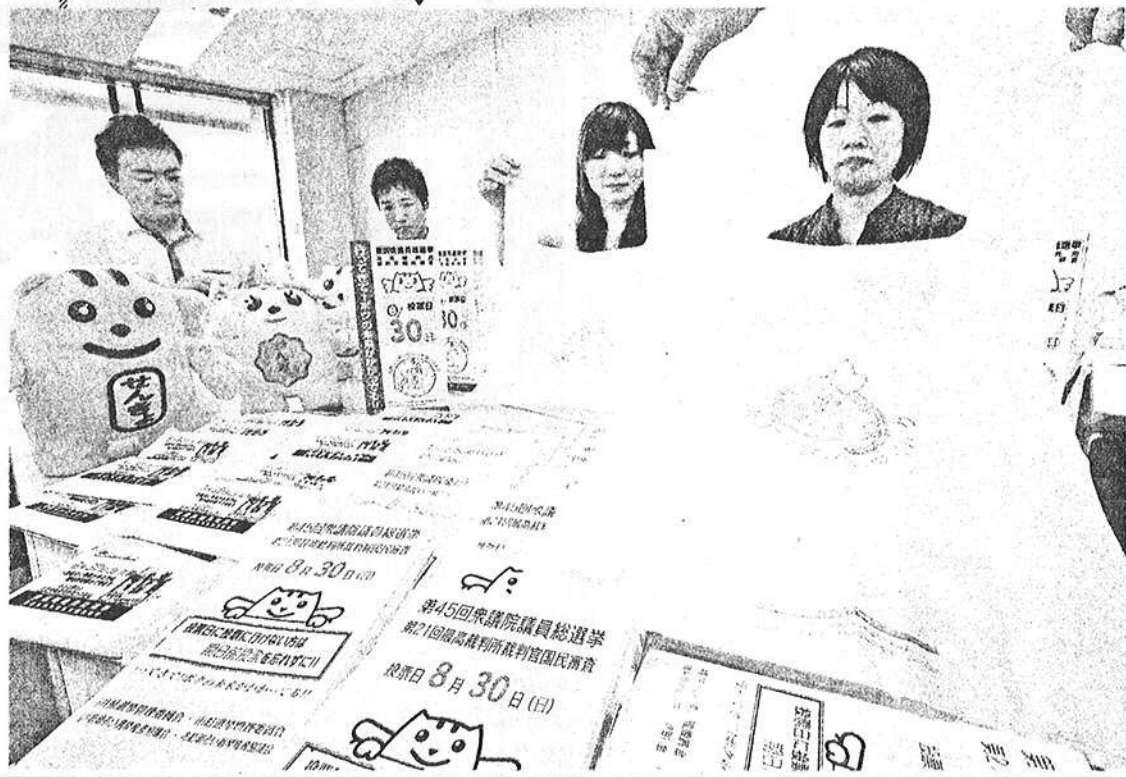
県選管は約二万枚を用意し、すでに各市町に配布済み。燃やしても有毒ガスを発生させない素材で、何度も使えるよう厚地に作っている。

また、多くの若者が集うインターネットカフェなどにも、投票日や期日前投票の日程が書かれた卓上広告塔が置かれる予定。エコと若者。流行も選挙も同じキーワードにつながる。

写真・文 河野光吉
終わり

選挙啓発キャンペーンで配られるグッズ。環境の時代を意識してかエコバックも配布される一県庁で

選挙にもエコ登場



衆院選きょう公示

8月18日 読売新聞

県警の警告84件 公示前選挙違反

公示前選挙違反

県警捜査2課は17日、衆院選に関する選挙違反取り締まりで、警告件数が昨年夏から16日現在までで84件に上ったと発表した。

同課によると、違反の内訳は、ポスターを指定された場所以外に掲示するなど

の「文書掲示違反」が82件、「文書頒布違反」が1件、「その他」1件だった。

2005年の前回衆院選では、公示前の警告件数は17件で、今回は約5倍も多い。同課は「選挙に入るとみられた時期から、実際の公示までの期間が長引いたことが影響しているのでは」と分析している。

県内3選挙区に9人

県内三小選挙区に、前職五人、元職一人、新人三人の計九人が立候補を表明している。うち七人が衆院選の出馬経験者で、党派別では自民と民主が各三人、共産が一人、幸福実現党が二人。解散から投票日まで四十日というロングランで、各陣営とも時間を十分に掛けて準備を整え、開戦の時を待っている。

選挙区ごとの予想の顔触れは福井1区が自民前職、民主前職、共産新人の三人。2区は自民前職、民主前職、幸福実現新人の三人。3区が自民前職、民主元職、幸福実現新人の三人。1区での立候補を表明していた幸福実現新人の一人は、出馬を取りやめた。

各選挙区とも自民と民主の衆院議員経験者が

が政権を懸けた激戦を繰り広げ、それに新人一人が加わるというつどもえの構図になっている。

立候補予定者中、自民、民主、共産の計七人は比例代表との重複立候補を予定。立候補届け出は十八日午前八時半から午後五時まで、県庁地下一階の正庁で受け付ける。

(衆院選取材班)



立候補受け付けの順序を確認する県選管職員たち=17日午後、県庁で(蓮覚寺宏絵撮影)

衆院選の公示を前に県選挙管理委員会は十七日、県内小選挙区の立候補の届け出受け付け会場となる県庁正庁で、受け付けのリハーサルを行った。本番と同じ約四十人の県選管職員が、各選挙区ごとに作業を確認

県選管も準備万全

し、本番に向けて万全の態勢を整えた。

リハーサルは各選挙区に複数の立候補者がいることを想定して実施。届け出順を決めるくじや届け出書類をチェックするとともに、立候補を受け付ける。

動員用腕章、白バラなどの「選挙七つ道具」の受け渡しなど、当日と同じ手順で作業をして確かめた。

公示日の十八日は午前八時三十分から午後五時まで立候補を受け付ける。

(藤井雄次)

候補受け付けが十八日、県庁正庁で三選挙区一斉に行われた。

受け付け開始の午前八時半前から、各選挙区とも複数の候補者の代理人が集まり、県選挙管理委員会の職員がくじ引きで届け出順を決定した。

「七つ道具」抱え
出陣式へと急ぐ
立候補受け付け
県内の小選挙区の立

代理人らは順番に従って書類を提出。間もなく審査が終了すると、代理人らは腕章など選挙の「七つ道具」を受け取り、多くの支援者が集まる出陣式や



届け出の受け付けを済ませ、「七つ道具」を抱えて事務所に向かう陣営関係者—県庁正庁で

第一声の会場へ向かった。
(西本円)

在外選挙人は363人
県選挙管理委員会は

きょうから期日前投票

衆院選の期日前投票場などに設置され、福井市は市役所や、すかつとランド九頭竜など七カ所。旧清水町と旧越前村は選挙区が三区のため、福井市清水総合支所と同市越前公民館にそれぞれ投票所を設ける。

最高裁判所裁判官の国民審査の期日前投票は二十三日から二十九日まで。受付時間はいずれも午前八時半から午後八時まで。

十八日、海外に住み、県内選挙で投票権を持つ在外選挙人名簿登録者が、同日現在で三百六十二人(男性百六十九人、女性百九十四人)と発表した。国別ではブラジルが最多の百三人で、米国六十八人、中国三十三人などで続く。

衆院選の在外投票は十九日に在外公館などで始まり、今回から初めて小選挙区も対象になる。

県選管委員長が談話

「人柄や政策 見極め一票を」

18日の衆院選公示に当たり、県選管の奥井隆委員長は談話を発表した。要旨は次の通り。

18日の衆院選公示に当たり、県選管の奥井隆委員長は談話を発表した。要旨は次の通り。回(の)の総選挙は、現在の厳しい選挙は民主主義の基盤をなすものであり、国民が主権者

進路を決定する上で、極めて重要な意義を持っています。有権者は、自分たちの代表者を選ぶ重要な選挙であることとを十分認識し、選挙公報や各政党が頒布するマニフェストなどを通じて候補者の人柄や政党の政策を見極め、自らの自由な意思と判断によって日本の将来を託するにふさわしい候補者、政党に貴重な一票を投じるよう切望します。

今回の総選挙は戦後初めて8月に投票が行われますが、旅行などで投票日当日に投票できない方は、期日前投票を十分活用し、大切な一票を棄権することなく行使することを期待します。

候補者および選挙運動にたずさわる方々は、ルールを守ったきれいな選挙を展開し、有権者の信頼と期待に応えるよう念願します。

8月22日 日刊県民福井



投票を呼びかけるCEPTのメンバーら
―福井市のショッピングシテイベル

若者の投票率 今回は？

薄まる意欲 啓発隊が出動

投票意欲が薄い。一票の重さを大切にしようという話を話している。

参加し、風船、エコバッグの啓発グッズを配布した。福井市花堂南のショッピングシテイベルではCEPTの大学生ら3人が選挙啓発のマスクット「めいすいくん」の着ぐるみとともに「投票に行きましょう」と呼びかけた。

市町の選管も同日から臨時啓発を開始。投票日前日の29日まで各地で啓発運動が行われる。

衆院選最初の週末を迎えた22日、県選挙管理委員会では若者の投票率アップに向け、福井市や坂井市などのショッピングセンターで啓発活動を行った。県選管の調査では近年、若者の選挙離れが顕著になっており、大学生が加わる啓発キャラバン隊が若い買い物客らに「必ず投票を」と呼びかけた。

県選管が前回衆院選（平成17年9月）で県内投票率（71・68％）に近い投票率だった投票所1カ所を抽出

し、結果を分析したところ、最も投票率が低かった年代は20～24歳で、48・33％と県全体より3割以上低かった。また同じ投票所の年代別最高の60～64歳の85・71％を大幅に下回っていた。

前回参院選（19年7月、投票率63・25％）でも投票所1カ所と同様の調査を行ったところ、最低は20～24歳で24・58％にとどまり、最高は60～64歳の79・89％という結果だった。

県選管では「若い世代の

最高裁判事 国民審査 県選管が用紙発送

衆院選（三十日投票）と同時に実施される最高裁判事の国民審査で使う投票用紙などを、

作業は午前八時四十分から、県庁前で行われた。県選管の書記ら

箱を、四ツトラック三台に手渡しで積み込んだ。

出発。県選管によると、正午すぎには全市町に印刷物が到着した。

最高裁判事国民審査の投票用紙などをトラックに積み込む県選管職員ら。県庁で

約二十人が、投票用紙など十八種類の印刷物

この後、トラックは坂井と奥越、福井と丹南、嶺南の三方面の市町に向けてそれぞれ

今回の国民審査で対象となる裁判官は九人。期日前投票は二十三日から始まる。

（山本洋児）

最高裁判事国民審査の投票用紙などをトラックに積み込む県選管職員ら。県庁で



4市開票開始早める

05年衆院選比 敦賀30分、福井15分

政権選択選挙として衆院選への有権者の関心が高まる中、県や各市町選管は開票・速報作業の迅速化に力を注ぐ。敦賀、福井、鯖江、大野の4市は2005年の前回衆院選より開票開始時刻を早め、万全を期す構えだ。

前回に比べて30分早めて午後9時から開票するのは敦賀市。福井市は15分早め同9時15分、鯖江市は10分早め同9時、大野市は5分早め同9時15分にそれぞれ作業をスタートする。福井、敦賀両市は07年の参院選と比べ

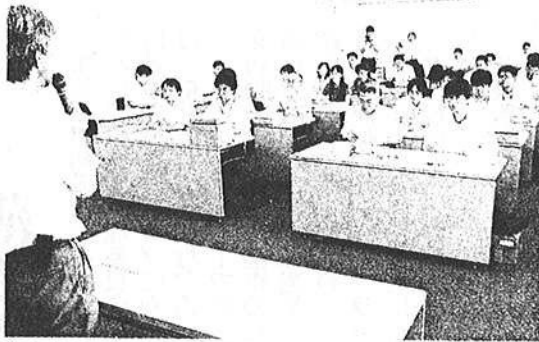
初めて。旧福井市と旧美山町は1区、旧越廼村と旧清水町は3区と、2系

統の開票作業を同じ会場で行うこともあり、前回より全体で20人増やし503人が作業に当たる。2系統での開票は既に県議選で経験済みで、市選管は「特に不都合はなかった。開票所を二つ設け

るという考えで取り組む」とする。07年参院選で開票作業の流れを一部変更した敦賀市は今回、投票箱が到着した直後に点検に当たる人員を増やすという。

このほか、県内市町では「職員各自が開始時刻の意識を持つよう重ねて注意している(鯖江市)」「作業に当たる一部職員は「作業の向きを従来と変える(勝山市)などと、迅速化に向けて気を配っている。

投開票速報事務の手順を確認した県と市町選管の会議—25日、県庁



開票、速報事務厳正に

県、市町選管 手順を打ち合わせ

30日の衆院選開票を前に県選管は25日、市町選管の担当者との会議を県庁で開いた。投開票や開票速報の手順、注意点を周知し、ミス防止や事務の迅速化を図ることを確認した。

県選管の職員が、今回から行われる小選挙区の外投票の取り扱いや、ファクスでやりとりする開票速報の事務手順を説

明した。また、新型インフルエンザに関して、事務に当たる職員は健康管理や期日前投票所での予防対策を要請した。

長は「投開票は選挙の有効性にかかわり、厳正な執行に努めてほしい」と強調。県民に結果を速やかに伝えることも求めら

順の工夫を求めた。

開票は小選挙区、比例代表の順に行われ、小選挙区は午後9時半から同10時半まで30分おき、それ以降は20分おきに状況を発表する。比例代表は確定した市町の結果を同10時から1時間おきに、午前0時半からは確定していない市町の状態を1時間おきに発表する。28日に投開票速報のリハーサルを行い、本番に備える。

2009 政権選択 ふくい

期日前投票1.6倍(前回) 県選管 5日間で

県選挙管理委員会は二十四日、衆院選管内小選挙区の期日前投票開始から五日間(十九日二十三日の投票数を集計した。三選挙区の合計は一万七千三百八票で、前回衆院選(二〇〇五年)の同期間の約一・六倍と順調

に推移している。選挙区ごとにみると、福井1区が六千三百二十四票(前回衆院選時四千九十六票)、2区が五千四百六十九票(同三千四百四十四票)、福井3区が五千五百十五票(同三千四百二十一票)と、軒並み伸びている。市町別では、トップが福井市(1、3区)の六千四百四十八票。このほか千票の台を突破しているのは、鯖江市(2区)の千三十二票、坂井市(同)の千

八百九十八票、敦賀市(3区)の千四百五十三票、越前市(2、3区)の千五百十票の計五市となった。前回衆院選同時期で千票を超えたのは福井、坂井の二市だけで、今回の「政権選択選挙」への関心の高さをうかがわせる結果となった。(桂知之)

公報と審査公報を発送した。県庁で行われた発送作業では、県選管職員十五人が、地域ごとにまとめた公報の束をトラックに積み込んだ。選挙公報は、立候補者の紹介や政見などが書かれた小選挙区選挙用と政党を紹介する比例代表選挙用がある。例代表選挙用では、衆院選と合わせて行われる国民審査について、九人の最高裁判所裁判官がこれまで行った裁判などを紹介している。計約九十万部を発送した。公報は、県内各市町などを介して二十八日まで各世帯に届く予定。(平林靖博)



選挙公報などをトラックに積み込む県選管職員たち＝県庁で

開票作業本番を控え

速報リハーサル

県選管

県選管は28日、県内17市町選管と連携して県庁で衆院選開票状況の速報リハーサルを行い、機器の動作状況などを確認した。

県庁6階には本番でも使われる集計部屋にファクス9回線が敷かれ、パソコン12台が置かれた。午後2時を30



リハーサルで市町から集まる情報を集計する県職員＝県庁で28日

した職員30人は各市町の選管から開票経過が書かれたファクスが届くたびに「あわただしく動き、内容の確認やパソコンへの打ち込み作業に追われていた。開票状況は県のホームページで閲覧できる。【幸長由子】

きょう開票 深夜から未明に当落判明

421か所に投票所設営

『政権選択』が最大の焦点となった衆院選は30日に投票され、県内17市町の開票所で即日開票される。県内3小選挙区には計9人が立候補しており、深夜から31日未明にかけて次々と当選者が判明する見込み。選挙戦最終日となった29日は、各候補が「最後のお願い」に駆け回り、各市町では職員らが投票所の設営作業に追われた。

衆院選
200
福井



投票所の設営作業に追われる福井市職員（福井市立社南小で）

県内の小選挙区では、1元議員の3人が立候補し、区に自民前議員、民主前議員、共産新人の3人、2区に民主前議員、自民前議員、諸派新人の3人、3区に自民前議員、諸派新人、民主戦となっており、各候補は

最後まで支持を求めて選挙カーを走らせた。

県全体の投票所数は、市町村合併を受け、2005年の前回選より23か所少ない421か所。投票は午前

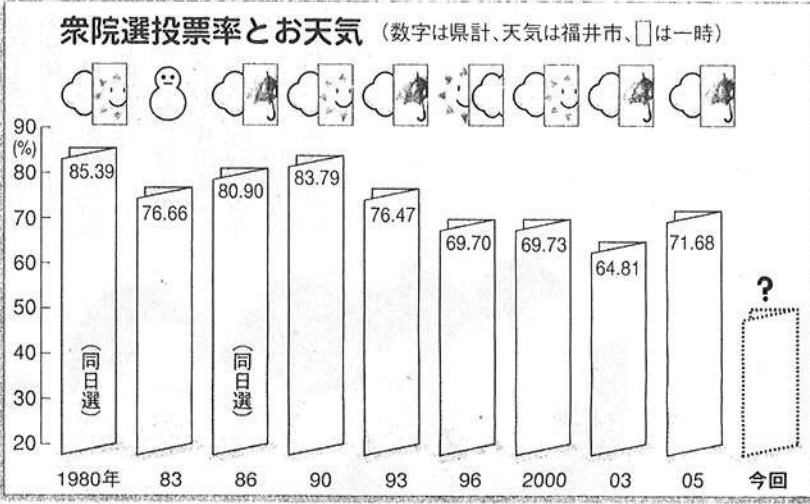
7時から午後8時まで受け付けられるが、59か所の投票所では、締め切り時間が繰り上げられる。4市7町で午後9時から開票が始まり、同9時30分までにすべての市町で開票がスタートする予定。

福井市はこの日、市内106か所で投票所を設営。有権者が最も多い同市種池の市立社南小学校の体育館では、市職員約10人が、決められた配置図に沿って投票箱や記載台を取り付け、投票箱内に何も入っていないことも確認していた。

福井地方気象台によると、30日は県内全域でおおむね曇りとなる見込み。嶺北の一部で明け方から昼過ぎにかけて雨が降る可能性もあるが、降水量は多くないという。気温は嶺北、嶺南とも平年並み。

期日前投票6万8012人 28日まで

衆院選の期日前投票について、県選挙管理委員会は29日、投票票日前々日にあたる28日までの投票者数を発表した。県全体で6万8012人が投票を済ませており、2005年の前回選



同時期における投票者数4万3577人の1.69倍に達した。小選挙区別では、1区2万1483人(前回比8648人増)、2区2万2457人(同928人増)、3区2万4072人(同9721人増)。

投票日が近づくと、投票者数は増えており、県選管は「選挙への関心の高さがうかがえる」としている。

